

# 名瀬港本港地区岸壁(水深7.5m) (耐震改良)



本港地区の老朽化の著しい岸壁（水深7.5m）を地震に強くすることにより、被災時においても海上輸送が可能になり、島内の社会・経済活動を維持することが期待されます。

また、荷役スペースを広くすることにより、船舶の荷役作業及び乗客の乗降時の安全性が向上します。その結果、島内への安定的な生活物資の供給が可能となります。